



HIROSHIMA NAGISA JUNIOR HIGH SCHOOL SENIOR HIGH SCHOOL

NEWS

広島なぎさ中学校・高等学校

VOL.

171

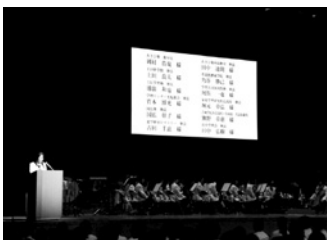
2015・7月発行

2015.5.30 (SAT) 10:00～ 広島サンプラザホール 於

広島なぎさ中学校・高等学校 創立50周年記念式典開催 第一部「感謝と決意の50年」



主役は生徒。生徒にとって50周年がどういう機会となり学びの場になるかを念頭において企画されました。



スクリーンでの来賓紹介



中・高生徒会副会長による開会宣言



オープニングファンファーレ



校長も50歳、50年の時について語る

「創立50周年記念行事を企画するに当たって」

周年行事は、関わってこられた方々への感謝、ならびに内外に今後の決意を示すメッセージ発信の場です。ただ、学校の主役は生徒なので、生徒にとってこの50周年がどういう機会となり学びの場となるかを念頭において企画してきました。一つには、50年という時間を実感してもらいたい想いがあり、北棟1階での校史と絡めた50年前の具体物の展示という企画になりました。

来賓を招いての式典についても、数々のご挨拶を頂戴する式典ではなく、映像と音楽によって構成され、生

徒に対してもメッセージが伝わり学ぶものがあるものとさまざまに展開や曲等を思案しました。

そんな中、Let It Goが多言語で流行したことを受けて、今回のような構成の構想がまとまった次第です。

一味違うこういった式典の展開を当たり前と捉えられるという本校らしさの文化の継承が行われた式典となったのではないのでしょうか。

校長 角島 誠

CONTENTS

●50周年記念式典	1～4
●第51回体育祭	5
●2年 パサデナ交換留学	6
●1年 新入生オリエンテーション	7
●2年～6年 遠足	7
●新高校生徒会役員	8
●TOPICS	8
●CLUB NEWS	8

なぎさ創立50周年記念

なぎさ宣言に込められた想いは
生徒一人ひとりの心に残る決意の
言葉となりました。



なぎさ宣言 中学生徒会長

50周年という節目の年に中学生徒会長を務めることができたこと、そして大切な式典でなぎさ宣言ができたことを誇りに思います。また、大勢の方の前で発表ができたことによって、自分の心も大きく成長でき、とてもいい経験になりました。これからもなぎさ生として恥じない行動をし、わくわくする充実した学校生活を過ごしていきたいです。

3年1組 坂井 彩乃

なぎさ宣言 高校生徒会長

50周年という節目の年に、高校生徒会長としてなぎさ宣言ができ、本当に貴重な体験となりました。また、姉妹で生徒会長をするという偶然が重なったことに対してなぎさとの縁を感じました。創立50周年の広島なぎさ中学校・高等学校ですが、これまでの先輩方が築いてきたものに新しい要素を加えていって、これから100周年に向けてなぎさがより良いものになるよう、しっかりと後輩にバトンをつないでいきたいと思っています。

6年5組 坂井 雪乃

「なぎさ宣言50!」

★ わたしたちは 地球のこどもです。
そして今、「なぎさ」で学んでいます。
One child, one teacher, one pen and one book can change the world.
Education is the only solution, Education First.

一人の子ども、一人の先生、一冊の本、そして一本のペン、それで世界は変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。
Education First エデュケーション ファースト 教育を第一に。
昨年、史上最年少で「ノーベル平和賞」を受賞した、パキスタンの少女マララ・ユスフザイさんの国連での演説の一部です。
マララさんとわたしたちは同世代です。

★ あらゆる人類の進歩は先人たちの努力のレリーの結果に他なりません。
私たちは今、なぎさ中学校・高等学校創立50年目のバトンを託されています。
やがて、世界に役立つ学力、知識、発想力、想像力を身につけ、夢を求めて羽ばたき続けます。

全ての人の、ものに、そして学ぶことに感謝し、社会奉仕の心を忘れません。

校舎の前の海は地球全体に校庭から仰ぐ空は宇宙へと広がっています。
マララさんの「Education First」教育を第一に……という言葉は
鶴 虎太郎先生の建学の精神「教育は愛なり」につながっているように思います。
1965年4月1日の開校から今日まで18297日
元気で、自分らしく、人にやさしく、遅く、無限大の可能性に向かって……
先輩の方々が守り、育んでくださった伝統のバトンをしっかり後輩たちにつないでいくことを創立50周年目の今に学ぶ
「広島なぎさ中学校・高等学校」の生徒として……
本日、2015年 平成27年5月30日

「ここに、宣言します!」

生徒代表 広島なぎさ中学校 中学生徒会長 3年1組 坂井 彩乃
広島なぎさ高等学校 高校生徒会長 6年5組 坂井 雪乃

第二部「新しい50年」「わくわく・未来へ～フューチャー～」 50年間の科学技術の進歩とコミュニケーションツールの進化を実感!



オープニングは、50年前アカデミー賞に輝いた「サウンドオブミュージック」を演奏



ショルダーホンの金谷君とスマホの玄道君

コミュニケーションツールの歴史に触れ、生徒との学びを実践

鶴理事長 輝く未来に向けて教育者としての決意の言葉

Let It Go 全校生徒歌唱(6カ国語)



フィナーレは Let It Go 本校オーケストラによる演奏



1年生(日本語)



2年生(英語)



3年生(スペイン語)



4年生(フランス語)



5年生(中国語)



6年生(アラビア語)



体育館でのリハーサル

Let It Go 全校歌唱

6カ国語での全校歌唱は、英語をはじめ、スペイン語、フランス語、中国語、アラビア語の歌詞をそれぞれの言語に堪能な先生が翻訳するところから始まりました。歌詞の準備が終われば、それぞれの言語をどのように発音するのか担当の先生から教えを受け、合唱部によるデモテープを作成し、音楽の授業での練習や、毎日のお昼の放送として流しました。また各学年の学年集会で、学年全員で歌うことに慣れる機会を作りました。その後、全校生徒での練習を体育館で行い、学校全体でイメージを共有し一歩一歩進めてきました。

当日は、これまでの練習の成果や、全校生徒、教職員の協力があつたからこそ成功を取めることができました。本校のホームページで当日の映像を見ることができますので、是非ご覧ください。

音楽担当 藤原 譲治

50周年記念行事

感謝の会 (小アリーナにて)



山口 豊資 先生



ホテルの宴会場等で行うのがよくある例ですが、日頃生徒が学ぶ学び舎にふれていただきたいとの想いから、サンブラザから本校へ移動しての開催としました。会は、開校当初より本校一筋に勤務され、本校50年の歩みを全て見て来られた山口豊資先生のご発声により乾杯となりました。

特別な余興を差し挟むことなく、所縁の方々お互いのお話のみというアナログ感満載の会でしたが、実に和やかな雰囲気の中、盛会のうちにお開きとなりました。

校長 角島 誠

胸像除幕式 (同窓会主催)



本校創立50周年記念式典に続き、同窓会より広島なぎさ中学校・高等学校50周年記念協賛事業として鶴 巖名誉総長先生の胸像を建立し、除幕式を行いました。校長先生をはじめ、鶴理事長先生、教職員の皆様に参列いただき盛大に執り行う事が出来ました。生徒の皆さんは鶴 巖名誉総長先生の胸像を毎朝目にされて学校生活を送られていると思います。

また、胸像の隣にあるソテツの木は以前、広島工業大学附属広島高校の正門入口に植えられていたシンボルとも言える木で、本校において唯一歴史を感じ、見出せる場に立つ胸像は同窓生にとっても感慨深いものがあることと思います。

胸像製作に御尽力頂きました役員、関係者の方々そして、何より記念事業に協賛し寄付を頂いた多くの方々に心より感謝申し上げます。

同窓会長 道田 聡



50周年記念歌碑 (PTA)



本校50年目の節目にPTAより校歌の歌碑を寄贈いただきました。新校歌は1997(平成9)年、生徒、保護者、同窓生に募集しました。応募総数380点の中から石井麻夕美(当時中学2年生)さんの詞が選ばれました。作曲は團伊玖磨先生にお願いし完成いたしました。

校門を入るとすぐ正面入り口近くに建立いただき、生徒たちは毎朝それを見て教室に向かいます。「可能性は無量大」と大きな目標を持って学びについています。

50周年記念展示



創立50周年記念事業の一環として本校北棟1階で記念展が行われました。今回の展示は50年前に身近にあったもので、現在は姿を消した品々を集め、創立当初の生活の一端を知ってもらうコーナーを中心に、50年の長さを実感するために本校の沿革と社会の動き、ペリー来航、そして日清戦争終結からのそれぞれ50年間の4つの年表が並べられました。また、創立当時の雑誌や昔の卒業アルバム、学校関連品などの展示、クイズや当時のニュース、映画の放映も随時行われ、来場者にとって興味深い展示となりました。

総務部長 瀧口 啓倫



前日まで天候が心配されましたが、雲は多いものの日差しは柔らかく、非常に過ごしやすいうちで行われました。

今年度のテーマは「英姿颯爽」。各競技・演技では、生徒一人ひとりが遅くも爽やかに取り組む姿が見られました。応援団は例年より少ない人数でしたが、だからこそ演技に磨きをかけることができました。応援団全体に一体感が生まれ、素晴らしい演

武を見せてくれました。各学年の集団演技も練習の成果を余すところなく発揮し、大きな拍手をいただくことができ、生徒たちも達成感を味わっているようでした。紅白に分かれて競う本校の体育祭は、この5年間白組が優勝してきましたが、今年度は紅組が悲願であった6年ぶりの優勝となりました。



初めて応援団に参加し、団長という役をいただきました。最初は不安でいっぱいでしたが、頼もしい団員たちや先生方のサポートのおかげで不安が自信に変わり、日々厳しさを増していった練習も充実したものとなりました。今年度、白組は敗北を喫し、とても悔しい思いをしました。しかし、それ以上に最高の仲間と最高の思い出を共に創ることができた私は幸せ者です。白組のみんな、最後まで一緒に盛り上げてくれて本当にありがとう。

白組団長 下光 将太郎(6-4)



体育祭までの日々は、自分の役割を果たせるか不安でした。しかし、同学年の応援団員が私を支えてくれました。応援団の経験が初めての私にとっては、先輩への指示の出し方やスケジュール管理などが難しく、経験者である他の団員の動きを見ながら自分なりに取り組みました。念願の紅組優勝となりましたが、何よりもこの第51回体育祭が盛り上がったことが一番嬉しいです。応援団のみんな、本当にありがとう。そして生徒の皆さん、先生方、保護者の方々、ご協力・ご支援、本当にありがとうございました。

紅組団長 高橋 輝(6-2)

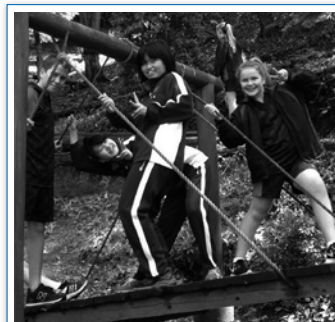




数学の授業風景



理科の授業風景



八千代校舎にて



調理実習でおにぎり作り



茶道の体験



留学生の合唱



なごさ生・教員も加わっての「ハカ」



歓迎会にてみんなで盆踊り

ニュージーランドのパサデナ中学校から、17名の留学生を迎え交換留学を実施しました。パサデナ生は本校生徒と一緒に授業を受けたり、書道や調理などを通じて日本文化を体験したりと、楽しく充実した12日間を過ごしました。八千代校舎や広島平和記念資料館を訪れた際は、広島 naturally や歴史を肌で感じることができました。期間中は本校生徒の家にホームステイし、共に生活する中で友情を深めていきました。本校2年生の生徒たちは協力して歓迎会の準備を

し、ニュージーランドからの友達をあたたかく迎えることができました。積極的な姿勢、感謝の心、平和への思いなど、独自の視点を持ったパサデナ生と接する中で、知らなかったことを知る楽しさや世界が広がる開放感を得た生徒も多かったです。7月には本校の生徒がニュージーランドへ留学します。彼らが現地で何を学んでくるのか、成長が楽しみです。

外国の人と長い期間を共に過ごすのは初めてのことでした。言葉だけでは伝わらないことが何度もあり戸惑いましたが、「伝えようとする気持ちがあれば理解し合える」という大切なことに気づくことができました。また、異文化を受け入れることの大切さも知りました。それぞれ文化が違い、驚くこともありましたが、その違いを受け入れることで絆が深まっていったように思います。次は私がニュージーランドに行きます。コミュニケーションを大事にして有意義な交流をしたいと思います。 2年1組 岡田 日菜子

パサデナ生との交流を通して、彼らと私達は鏡のようだと思いました。私達が不安そうにしていると相手も不安になり、笑顔でいると楽しそうにしていました。このことから、相手の言語を理解し話すこと以上に、相手を思いやる心が大切だと分かりました。異文化理解というのはなかなか難しいことだと私は考えていましたが、今回の経験を生かすことで、それも可能だと思うようになりました。 2年2組 古川 まど果

色々な場面で互いの文化に触れ合い、充実した時を過ごすことができました。中でも印象に残ったものはパサデナ生の積極性です。何に対しても興味を示し、自ら実行しようとする彼らと交流することで、自分にも自然と積極性が出てきたように感じます。パサデナ委員として、みんなが楽しむための場をつくる役でもあった私は、歓送会でも司会を務める中で、これまで行事に役割を持って関わってきた人たちがどれ位苦労しているのかが分かりました。この交流を通して手に入れた能力を他のことにも生かしていきたいです。 2年5組 永田 知宏

パサデナ留学生の感想「平和について考えたこと」
I think "Peace" doesn't just mean Peace between tribes or countries, but also kindness between people. There is always peace and kindness between them. Peace is Peaceful. Peace makes everyone kinder and nicer. Greer Finlayson

1年 新入生オリエンテーション

● 本校・広島工業大学沼田校舎／平成27年4月13日(月)・14日(火) ●

小雨の降る中、本校と広島工業大学沼田校舎にて新入生オリエンテーションが行われました。初日は本校で校長講話や、校歌指導などが行われ、本校生徒としての自覚を高めました。その後、沼田校舎に移動して「からだ元気」にて姿勢づくりの大切さを学びました。2日目にはクラスごとに乗馬やNAP、大縄とびを行い、クラスの親睦を深めることができました。2日間の集団生活を通して、規律ある生活態度を学ぶことができました。この合宿での経験を学校生活に生かし、実りある6年間を過ごしてほしいと思います。



校長講話を真剣に聞く生徒たち



乗馬体験に感動

私はオリエンテーションでなぎさ生としての意識、友だちとの関係を深めるなど、初めての体験もたくさんしました。オリゼミに行く前に立てた目標が「相手の気持ちを考えて行動する」でした。協力しないとできないオリエンテーションは相手の立場に立って考えることが一番多かったと思います。協力し、助け合うことで、自分が最初に立てた目標も達成することができました。オリエンテーションだけでなく、日常生活・学校生活でも「相手の気持ちを考えて行動する」はとても大切です。6年間の学校生活が楽しく充実した生活になるように努力していきたいです。地道にコツコツ、明るく前向きに頑張っていきたいです。 1年1組 小林 暖

今回のオリゼミで私は「人間力」の中でも、特に「^{あいだ}間力」が身についたように思います。私にとっての「間力」は、人と人とのつながりだと思います。このことを強く感じたのは大縄とびです。大縄とびは、人と人とのつながりがないとできないし、お互いに協力しないとできません。私たちは8回しか跳べなかったけれど、これもみんなで協力して出した記録です。一人でもやる気をなくしたら、みんながまとまっていなくて感じました。逆にみんなで声をかけ合って気持ちが一になった時は、よい記録が出ました。「間力」は一人一人から始まるのだと思いました。 1年5組 田中 理菜

2年～6年 遠足

● 平成27年4月17日(金) ●

晴天に恵まれ、今年度も各学年の遠足が行われました。4年生の遠足は、本校初の試みである「瀬戸内クルージング&御手洗(みたらい)散策」でした。呉港から貸切船で出港し、音戸の瀬戸、安芸灘大橋の下を通過、夜間歩行で渡る来島海峡大橋を遠望し、大崎下島御手洗港に到着。重要伝統的建造物群保存地区の御手洗を、グループで写真を撮りながら散策し、帰校後にフォトコン

テストを行いました。生徒たちは、クルージングの間は自分たちにとって身近な瀬戸内の多島美に改めて感動し、また、仲間との親睦を深め、御手洗では江戸の町並みと昭和浪漫を味わいました。海に面した「なぎさ」ならではの遠足だったのではないのでしょうか。

2年
みよし風土記の丘



晴天の下でのウォークラリー

3年
宮島弥山



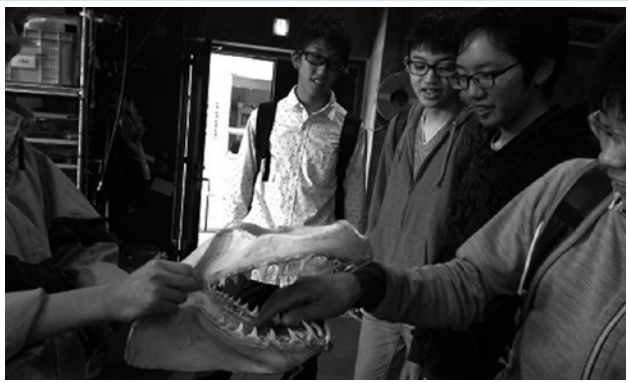
登頂後のつかの間の歓談

4年
瀬戸内クルージング&御手洗散策



グループでの散策

5年
しまね海洋館アクセス



サメの歯の感触に驚く生徒たち

6年
尾道



港町、尾道にて

新高校生徒会役員

今年、この学校は創立50周年を迎えました。そして、創立100周年に向けて新たな一歩を踏み出す年に生徒会長を務めることができ、光栄に思います。さて、生徒会執行部は新たにこの12人で活動を行うこととなりました。役員はもちろんですが、生徒の皆さんも生徒会を創り上げる大切な一員です。これまでの先輩方に引き続き学校全体で一丸となり、より良い学校づくりを目指して活動していきます。1年間よろしくお願ひします。

新高校生徒会長 川崎 耀

会 長	川崎 耀 (5-4)	会計 監査	住吉 未帆 (5-2)
副 会 長	手嶋 絵璃 (5-1)		六信 奈波 (4-4)
書 記	末廣 鈴香 (4-1)	文化 部長	武藤 寛和 (5-3)
	岩下 雄一郎(4-2)	運動 部長	本山 隼大 (4-3)
会 計	喜田 光紀 (5-3)	風紀 委員長	鈴之原 恒平(4-4)
	山本 佳奈 (4-2)	美化 委員長	辰上 奈穂子(4-4)

TOPICS

第39回全国高等学校総合文化祭 2015滋賀びわこ総文

◎ バトン部 [マーチングバンド・バトントワリング部門]

日程：平成27年7月30日(木) 会場：野洲市総合体育館
 出場者：三浦 由布子(5-1)、森島 帆南(4-3)、柳川 静花(4-5)

◎ 管弦楽部 [器楽・管弦楽部門]

日程：平成27年7月28日(火)・29日(水) 会場：守山市民ホール
 出場者：池田 多賀子(5-1)、岡 隼斗(5-1)、森近 真帆(5-1)、鈴木 優花(5-2)、田中美緒(5-2)、三浦 玲央奈(5-2)、石丸 裕子(5-4)、岡本 成未(4-1)、平原 沙也香(4-2)、石川 愛海(4-3)、寺川 郁(4-3)

インターハイ

◎ 高校テニス部

大会名：平成27年度全国高等学校総合体育大会(2015近畿総体)
 日程：平成27年8月5日(水)～8月8日(土)
 会場：大阪府マリンテニスパーク北村
 種目：テニス 個人の部シングルス 男子
 出場者：澤田 文弥(5-3)

国体

◎ 高校テニス部

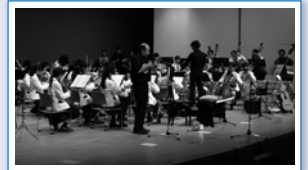
大会名：第70回国民体育大会(わかやま国体)
 日程：平成27年9月27日(日)～30日(水)
 会場：和歌山市立つつじが丘テニスコート
 種目：テニス少年男子
 出場者：丸石 拓海(6-5)

オペラ「赤ずきん」～和と洋のハーモニー～

◎ 管弦楽部

日程：平成27年5月16日(土)
 場所：佐伯区民文化センター

5月16日(土)、管弦楽部が佐伯区民文化センターホールで、オペラ「赤ずきん」～和と洋のハーモニー～を開催しました。オペラ「赤ずきん」は、アルゼンチン出身のシャランゴ(南米アンデス地方の楽器)奏者ディエゴ・ヤスカレーヴィッチ氏によって、本校の管弦楽部のために書かれたものです。春休みから練習を重ねてきた生徒たちは、作曲者のディエゴ氏と共に、初演のオペラを、演奏、歌、朗読、絵の総合芸術として表現しました。



CLUB NEWS

中学硬式テニス部

●第42回(2015年度)全国中学生テニス選手権大会 広島県予選大会
 日程：平成27年5月3日(日)～6日(水)
 成績：男子団体戦 優勝
 (第42回全国中学生テニス選手権大会 中国予選出場)
 中須賀 健介(3-2)・宮崎 崇文(3-2)・佐谷 拓海(3-3)・田中 真於(3-3)・萬谷 颯斗(3-3)・荒井 一貴(3-4)・秋吉 大地(3-5)・大西 瑛士(2-1)・小林 遼河(2-2)・後藤 溪太郎(2-3)
 男子シングルス
 秋吉 大地 優勝
 後藤 溪太郎 7位
 男子ダブルス
 秋吉 大地・後藤 溪太郎 優勝
 女子ダブルス
 西村 茉莉(3-1)・松井 江美里(2-4) 3位
 ●平成27年度広島市中学校テニス選手権大会
 日程：平成27年5月30日(土)・31日(日)
 成績：男子団体戦 2位
 佐谷 拓海・田中 真於・萬谷 颯斗・荒井 一貴・大西 瑛士・小林 遼河・後藤 溪太郎・大貫 颯太(1-2)
 女子団体戦 3位
 加世田 美友(3-1)・西村 茉莉・倉本 結梨(3-3)・古本 理子(2-3)・恵南 円(2-4)・松井 江美里・中丸 恵里(2-5)
 男子シングルス
 後藤 溪太郎 優勝

高校軟式野球部

●第60回春季広島県高等学校軟式野球大会
 日程：平成27年4月4日(土)～4月26日(日)
 成績：準優勝

中高囲碁将棋部

●第51回全国高校将棋選手権大会 広島県予選
 第39回全国高校総合文化祭将棋部門
 日程：平成27年5月17日(日)
 成績：男子個人戦A級 柏尾 稜(5-1) 3位

その他表彰

●第23回JOCジュニアオリンピックカップ武術太極拳大会
 日程：平成27年4月25日(土)・26日(日)
 成績：長拳A女子 横町 祐実(5-4) 全国4位
 長拳A短器械女子 横町 祐実 全国2位

中学水泳部

●広島市中学校水泳競技選手権大会 競泳の部
 日程：平成27年6月6日(土)・7日(日)
 成績：200m個人メドレー 柗井 萌(1-5) 4位
 200m個人メドレー 三村 純麗(3-1) 8位
 200m背泳ぎ 柗井 萌 5位
 400m自由形 小西 咲良(2-3) 1位
 800m自由形 小西 咲良 1位

高校水泳部

●平成27年度広島地区高等学校春季水泳競技大会 水球の部
 日程：平成27年4月18日(土)
 成績：4位
 ●広島県高等学校総合体育大会 水球の部
 日程：平成27年5月30日(土)・31日(日)
 成績：4位
 ●広島県高等学校総合体育大会 競泳の部
 日程：平成27年6月6日(土)・7日(日)
 成績：女子200m個人メドレー 小西 七海(5-1) 6位

高校硬式テニス部

●第54回広島市春季高校生選手権大会
 日程：平成27年3月23日(月)～27日(金)
 成績：女子オープンシングルス 馬屋原 月子(6-1) 優勝

●平成27年度第68回広島県高等学校総合体育大会 テニス競技(個人戦)広島地区予選
 日程：平成27年4月18日(土)・19日(日)
 成績：男子ダブルス
 丸石 拓海・澤田 文弥(県大会出場)
 竹野 光稀(5-4)・丸山 直人(5-4)(県大会出場)
 男子シングルス
 丸石 拓海(県大会出場)
 澤田 文弥(県大会出場)
 竹野 光稀(県大会出場)
 丸山 直人(県大会出場)
 藤田 貴久(6-1)(県大会出場)
 女子シングルス
 馬屋原 月子(予選免除 県大会出場)
 小川 万由子(6-4)(県大会出場)
 東久保 唯(6-4)(県大会出場)
 沖 菜摘(5-1)(県大会出場)
 女子ダブルス
 馬屋原 月子・横町 祐実(県大会出場)
 ●平成27年度第70回国民体育大会(少年の部) テニス広島県予選大会
 日程：平成27年4月25日(土)・26日(日)
 成績：男子シングルス 丸石 拓海 2位(全国大会出場)
 ●平成27年度第68回広島県高等学校総合体育大会 テニス競技(団体の部)
 日程：平成27年5月30日(土)・31日(日)
 成績：男子団体戦 準優勝
 竹野 光稀・丸山 直人・丸石 拓海・澤田 文弥
 女子団体戦 5位
 東久保 唯・沖 菜摘・馬屋原 月子・小川 万由子
 ●平成27年度第68回広島県高等学校総合体育大会 テニス競技(個人の部)
 日程：平成27年6月6日(土)・7日(日)
 成績：女子シングルス 馬屋原 月子 5位
 (第55回中国高等学校テニス選手権大会出場)